

## コップ座

コップ座は春に見られる星座で、からす座と一緒に、うみへび座の背中に乗っているように描かれています。コップ座を構成する星は、どれも4等星以下と暗いため、探す時には隣で輝くからす座を目安にするとよいでしょう。からす座は、北斗七星からのびる春の大曲線をたどって見つけてみてください。

このコップ座のコップは、みなさんが普段使うコップとは少々形が違っていませんね。コップ座は古い星座で、ラテン語ではクラーテル。両側に取手のついた大きな杯の形をしています。コップ座には、酒の神ディオニソス、音楽の神アポロン、英雄ヘラクレス、英雄アキレス、王女メディアの杯など、たくさん

の物語が伝えられています。ここではコップ座にまつわる物語を2つ紹介します。

昔、アテネの王イカロスのもとに、酒の神ディオニソスが滞在したことがありました。ぶどう酒の作り方を広めるためです。イカロスはディオニソスから教えられた酒のすばらしさを村人に広めようと、たくさん酒をつかって振る舞いました。ところが、「酒を飲んだのが始めて」という人々ばかりでした。最初は喜んでいた村人も、しだいにお酒がまわって酔っ払います。これを「毒をもらった」と勘違いした村人たちはイカロス王を殺してしまったのです。それを知ったディオニソスは悲しみ、イカロス王の思い出にと王に与えた杯を星座に上げたとのこと。

もう1つの物語は、コップ座のすぐなりにあるからす座と共に語られます。アポロンにつかえていたカラス（からす座）のお話です。アポロンに水くみのお使いを命じられたカラスは、寄り道をしたために帰るのが遅くなってしまいました。遅刻を怒られたくないカラスは、うそをつきましたが見破られてしまいます。アポロンは見せしめとしてカラスを天に上げ、コップにぎりぎり届かない（つまり水が飲めない）場所に星座をつくったそうです。コップ座とからす座の位置関係が絶妙です。

参考図書：全天星座百科：藤井旭著（河出書房新社）／星座神話ガイドブック：沼澤茂美、脇屋奈々代（誠堂新光社）／星と星座の伝説 春：瀬川昌男（小峰書店）

## 今月の見どころ星どころ

### 北斗七星

北斗七星はよく知られた星の並びです。7つの星がきれいなひしゃく（水などをすくう道具）の形をしていて、春の宵には北の空に見られます。北斗七星は星座の名前ではありません。北斗七星が含まれるのはおおぐま座で、クマのしっぽにあるのが北斗七星です。漫画「北斗の拳」で北斗七星を知った方も多いのではないのでしょうか。主人公の胸にある七つの傷は北斗七星の形に並んでいますね。私もこちらが先でした。北斗七星を使えば、北極星を見つけることができます。北極星は、ほぼ真北にあるため、この星を見つければ方角を知ることができます。

#### 《見つけ方》

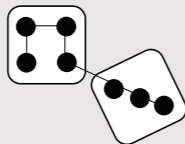
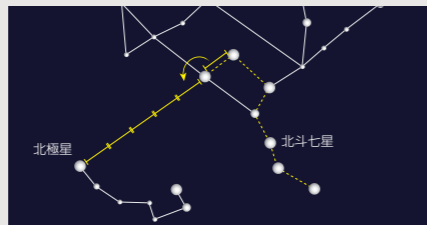
- ①ひしゃくの先にあたる2つの星を見つける。
- ②その2星の幅を5倍すると、北極星が見つかる。

北極星は2等星ですが、周辺に明るい星が少なく、単独で光っているため、案外見つけやすい星です。北極星は「こぐま座」の星です。北斗七星を見つければ、ぜひ北極星を探し当ててください。

この北斗七星は「しそぼし」とも言われます。「四（し）三（そう）の星」からつけられました。

北斗七星をひしゃくと見たときの水が入る部分の4個の星と柄の部分の3個の星に分けた見方です。2つのさいころを振って四と三の目が出ると北斗七星の星の並びに似ていることから、こう名づけられたようです。たしかに北斗七星に見えますね。

参考図書：かならず見つける星座の本：藤井旭著：偕成社



文・浜松市天文台  
喜澤 俊輔



## 星空クイズ

「すい、きん、ち、か、もく、ど、てん、かい」太陽系の惑星は、太陽から近い順にこのように並んでいます。私がこの惑星の並びを初めて聞いた頃は、これに「めい」が入っていました。冥王星です。2006年の国際天文学連合会で惑星の定義が決められ、冥王星は「準惑星」という枠組みに入ることになりました。では現在、「準惑星」は冥王星を含めていくつあるのでしょうか。

- A 3つ
- B 5つ
- C 7つ

答えは中面へ

# 星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

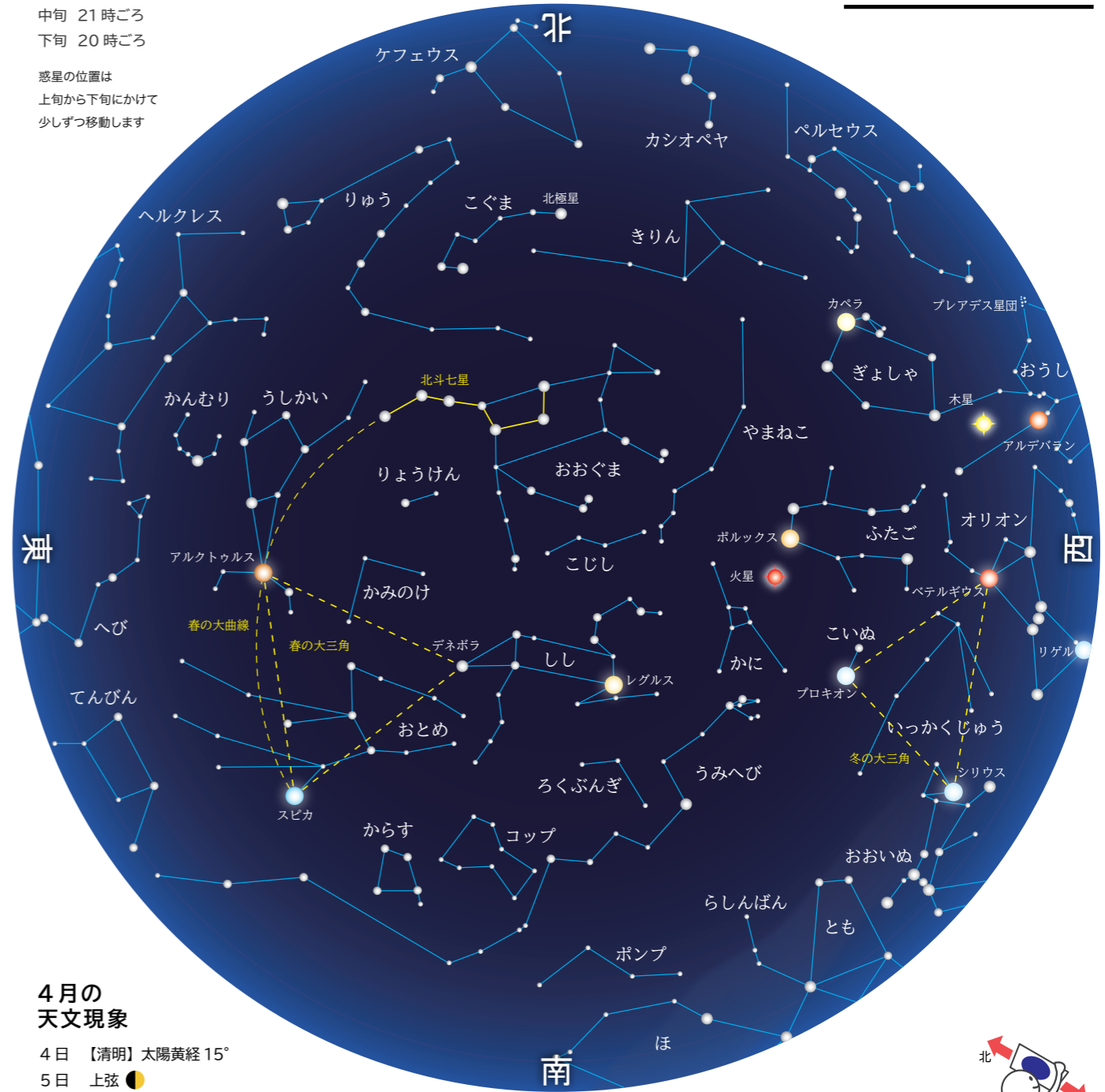
2025年4月

上旬 22時ごろ

中旬 21時ごろ

下旬 20時ごろ

惑星の位置は  
上旬から下旬にかけて  
少しずつ移動します



## 4月の天文現象

- 4日【清明】太陽黄経 15°
- 5日 上弦 ☾
- 13日 満月 ☽
- 20日【穀雨】太陽黄経 30°
- 21日 下弦 ☾
- 27日 金星が最大光度 -4.8 等
- 28日 新月 ☾

上の星図は、空にかざして  
実際の方角と合わせてご覧ください。



冬には「宵の明星」として夕方に西の空に見られた金星が、3月21日に内合（ないごう）となり、今は明け方に東の空に見られます。「明けの明星」です。日本では金星を「宵の明星」「明けの明星」として古くから親しんでいました。ひときわ明るい金星が4月27日に最大光度になります。一番明るい恒星であるシリウスは-1.5等ですが、金星の最大光度は-4.8等です。夜明け前の金星を楽しみませんか。





## 浜松市天文台

OK 天候不良開催 NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら



### イベント情報

星空観望会は予約優先、その他の一部催しは事前予約制となります。天文台ウェブサイトよりお申込みください。

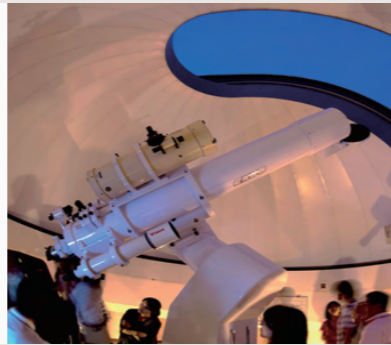
# 4/5・12・19・26

土

## 星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

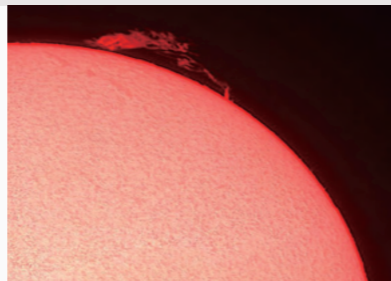
時間 19:30～21:00 会場 天文台屋上 申し込み 開催日3日前の水曜 13時から受付 (30分ごと先着20組)



## 4/6 太陽・昼間の星観望会

日 黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

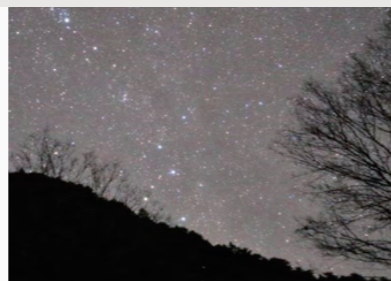
時間 14:00～16:00 会場 天文台屋上 申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



## 4/27 星と景色の写真講座

日 三脚と一眼レフカメラで、星の写った風景写真を撮影するための入門講座です。

時間 18:30～21:00 会場 2F 講座室 申し込み 4/16(水) 13時から受付 (先着6組)



裏面のクイズの答え：正解は、B (冥王星、エリス、マケマケ、ハウメア、セレス)

## 星空を楽しむ

## 宇宙へのとびら in はままつ

文・写真 浜松市天文台 喜澤俊輔

浜松市天文台に行ったことはありますか？開台して44年目を迎えました。毎週のように通ってくださるお客さんがいる一方で、「ずっと浜松に住んでいますが、初めて来ました。」「どこにあるのかわらなかつた。」という声も聞かれます…。五島協働センターの3階と屋上が浜松市天文台です。もっとみなさんに知っていただかなくてはなりません。

浜松市天文台は公開天文台です。広く市民のみなさんに天文に親しんでいただくための施設です。老若男女どなたでも無料で参加いただけるイベントを用意してみなさんをお待ちしています。毎週土曜日は星空観望会を行っています。星空観望会では、望遠鏡や双眼鏡で星を見るだけでなく、肉眼で見える恒星や星座のご案内もしています。「星の名前が分かるとうれしい。楽しい！」とっていただけると私もうれしくなります。望遠鏡や双眼鏡を使えば肉眼では見ることができない星を見られます。図鑑や画像を見るのとは違う感動を味わうことができるはずです。ぜひ、本物に触れに来てください。浜松市天文台では天文を愛するたくさんのボランティアさんが活躍しています。星の名前や星座のお話、天体写真撮影、望遠鏡のしくみなどそれぞれ得意な分野をお持ちの方たちです。星を見るのももちろん、ボランティアさんとの会話も楽しんでいただけると嬉しいです。



## 浜松科学館

### プラネタリウム番組情報

春季(3/20～4/6)、GW(4/26～5/6)は土日祝と同じプログラムとなります。

blog



#### プラネタリウム



#### まわる星と、かわる季節

季節や見える星座はなぜ変わるの？

毎日 14:30～15:25 土日祝・春季は11:30～12:25も投映



#### 星空マルシェ

気軽に観られる生解説のプラネタリウムです。

平日 15:50～16:30



#### 春の星旅 南半球の星空へ

日本からは見られない星空が待っています。

毎日 14:30～15:25 土日祝・GWは11:30～12:25も投映

#### キッズプラネタリウム



#### きらきら☆こんやのおほしさま

キッズ向け☆みんなであつぽに星を見よう！

土日祝・春季・GW 10:30～11:05

#### 大型映像



#### すみっコぐらし

すみっコたちがプラネタリウムに登場！

土日祝・春季 13:15～13:55 15:50～16:30



#### ティラノサウルス

最強恐竜 進化の謎に迫ります。

土日祝・春季・GW 13:15～13:55

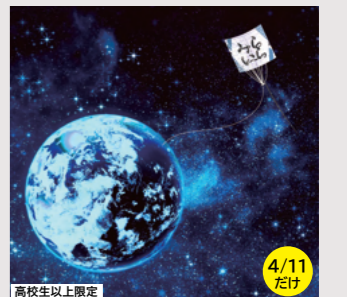


#### ヒーリングアース IN JAPAN

日本の絶景と星空に圧倒され、癒されましょう。

土日祝・春季・GW 15:50～16:30

#### 夜の科学館



#### おまつり魂は宙(そら)高く

古代ギリシャや浜松のおまつりを紹介します。

4/11 18:00～18:40 19:00～19:40

## あこがれのみなみじゅうじ座

column

文・浜松科学館 天文チーム 伊藤将宏

みなみじゅうじ座を見たことはありますか？私はまだ見たことがありません。通称、南十字、南十字星、サザンクロスと呼ばれ、日本のほとんどの地域からは見ることができないことから、あこがれの星座の一つとされています。みなみじゅうじ座はその名の通り、南の空に輝く十字型の星座です。88個ある星座の中で最も小さい星座ですが、明るい星でできているため、存在感は大きく見つけやすいです。また大航海時代、ヨーロッパから南へ旅をする船乗りたちにとって、方角を知る目印となりました。きっと彼らは空の十字架に旅の安全を祈ったことでしょう。

みなみじゅうじ座は南に行くほど空高く見えます。みなみじゅうじ座の見ごろは、1月から6月にかけてです。特に、4、5月は多くの方が起きている時間帯(～22時頃)に空高くのぼるため、見つけやすくなります。この時期、南半球の国に行ってみたいものですね。なお、北半球が春の時、南半球は秋になります。紅葉が進み、少しずつ寒くなってくる頃、南天の十字架を探してみませんか？とはいえ、すぐに南半球の国を訪れるのは大変です。世界中の星空を映し出すことができるプラネタリウムで星旅(ほしたび)を楽しみましょう。プラネタリウム番組「春の星旅 南半球の星空へ」は4月19日から始まります。みなみじゅうじ座もしっかり見られますよ。



Credit:ESO/S. Brunier

